

遷喬地区公民館だより 2月号



令和8年2月1日発行 第287号

「丙午」の今年はどんな年



今年 2026 年は、干支（えと）の組み合わせで 60 年に一度巡ってくる「丙午（ひのえうま）」の年です。

丙午をめぐっては、その年に生まれた女性は「男に勝る勝ち気で、七人の夫を喰い、家をも倒し、女としての義務を円滑に為し得ない」などの迷信から、「丙午の女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」とされ、過去の丙午の年は、出生数が大幅に減少しています。このようなことは、現代では科学的根拠のない迷信とされています。

さて、十干の「丙」は、陽の「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、強い意志を象徴しているとされています。十二支の「午」は、馬を表し、これもまた陽の「火」に属し、行動力やスピード、エネルギーを意味し、勢いがあり、勇敢で独立心が強いのが特徴だとされています。

この二つの組み合わせである「丙午」の年は、「情熱と行動力で突き進む年」「激動の時代を自身の意思で乗り越え、新しい時代を切り開く年」といった縁起の良い年になるとされています。

このような縁起の良い今年、強力なエネルギーを前向きに生かし、自分自身の成長や時代を動かす年にしたいものです。



発行：遷喬地区公民館
鳥取市本町 1 丁目 109
TEL 27-8562 / FAX 27-8566
<http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/senkyo-1>

お悔み

遷喬地区自治連合会顧問 浦木 清 様

長年にわたり、遷喬地区自治連合会会長、まちづくり協議会会長として活躍された自治連合会顧問の浦木清様（85歳）が、令和8年1月5日ご逝去されました。

謹んでお悔み申し上げますとともに、安らかなご永眠をお祈り申し上げます。

空気清浄機設置のお知らせ

鳥取県と（株）エアドッグジャパンが避難所の空気環境の改善に関する協定を締結し、（株）エアドッグジャパンから県内の避難所となる施設（公民館など）に対して空気清浄機が寄贈されました。

会議室・和室へ設置しておりますので、みなさまにより良い空気環境で安心してお部屋をご利用いただけることと思います。



2月行事予定表

1	日	茶道教室	
2	月	詩吟教室	
3	火	実用ペン習字教室	
4	水	ヨーガ教室	
5	木	ウクレレ教室	
6	金		民児協定例会
7	土		人推協しろきたブロック全体研修会
8	日		衆議院議員選挙投票日
9	月		
10	火	茶道教室 ハーダンガー刺繡教室	
11	水	すみれコーラス	
12	木		めだかサークル
13	金	生け花教室	自治連総会
14	土		
15	日		
16	月	詩吟教室	
17	火	実用ペン習字教室	
18	水	ヨーガ教室	
19	木	ウクレレ教室	
20	金	着付教室	健康講演会
21	土	3B 体操教室	
22	日		
23	月		
24	火	茶道教室 ハーダンガー刺繡教室	
25	水	すみれコーラス カルトナージュ教室	
26	木		楽豊さろん
27	金	生け花教室・着付教室	
28	土	3B 体操教室	

※日程は変更となる場合がございます。

1/12(月)

第48回 遷喬地区とんど祭り

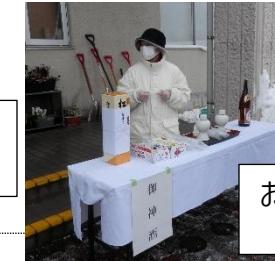
令和8年1月11日(日)開催予定でしたが、強風のため翌日12日(月)に順延して行いました。

積雪があり気温も低く、あいにくの天気だったということもあり、若干参加者は少ないよう思いました。

毎年、お飾りのみかん、金属類、プラスチックは取り除いて持参していただくようお願いしています。取り除けなかった物は実行委員会の役員が外しますが、本物そっくりのプラスチックの葉や、中の方に結んだ針金などもあり、年々お飾りの変化を感じています。役員のみなさん、大変お疲れ様でした。



燃やさない物の取り外し作業



お神酒、みかんの
おもてなし



遷喬地区とんど祭りの歴史をふりかえって

*昭和56年1月発行第17号の「広報せんきょう」に、三年目を迎えたとんど祭りの記事がありました。正確にはわかりませんが、昭和54年に第一回が行われたのではと思われます。この時は、「子供会連絡協議会」がお世話をされていたようです。

*そして、昭和61年1月16日の山陰中央新報に、復活結成された遷喬地区青年団の活動第一弾としてとんど祭りを行ったとあります。ちなみにこの青年団は、昭和60年10月に20年振りに再結成され、「地区の活性化につながること、地区の手助けをしよう」と引き受けたそうです。

*昭和62年の日本海新聞、当富桑小学校長だった元町の清末忠人さんのお話で、とんどの名前の由来は「火がどんどん燃えることから名づけられました」とあります。また、この頃は風邪をひかないようにその火で焼いたみかんを食べたりしていたそうです。

*その後、平成元年(1989年)に、青年団として四回目の活動を行ったとの日本海新聞の記事を見つけました。

*平成4年日本海新聞の記事では、伝統の風習を守り、住民がふれあう大切な行事として遷喬地区公民館運営委員会・地区自治連合会が小学校や青年団、健康づくり推進委員会など協力して行なったとあります。

*平成8年、健康づくり推進委員会が主催となり行なったそうです。

【 様々な人が関わり、協力をしながら長い間行われてきた「遷喬地区とんど祭り」です。今後も、末永く地区の伝統行事が続くよう願っています。】

1/16(金)

社会福祉協議会 新春お茶会



地区の一人暮らしの高齢者や、高齢協の会員の方々をお招きし、社会福祉協議会主催の恒例「新春お茶会」が開催されました。

前半は、「ミスター・ジェラートの手品ショー」を鑑賞し、後半は美味しいお抹茶とお菓子をいただき、楽しいひと時を過ごされました。

手品は、とてもわかりやすく(ネタがバレバレ?)ジェラートさん(鳥取市民)のキャラクターが面白くて、初笑いが出来ました。

お抹茶は、事前にお茶の先生の指導で練習をかさねて本番に備え、ボランティアの方と民生児童委員でたてました。



イタリアの方から来られた
ミスター・ジェラートさん



参加者もお手伝いをして盛り上りました。

とんど祭りの思い出

遷喬小学校がコンビネーションスクールとして移転する前に、旧校庭で行われた「とんど祭り」の記事です。「建築中の工事現場であるにも拘わらず、地区の一大行事のために現場担当者のご理解とご協力をいただき、無事に実施することが出来た」とあります。

しじみ汁のふるまい、健康相談もありともにぎやかな風景です。

平成6年「広報せんきょう」

